

秦野駅北口周辺
にぎわい創造検討懇話会

第3回

令和4年11月15日（火）

秦野駅北口周辺にぎわい創造検討懇話会とは？

まちに関わる様々な人のまちに対する思い、
アイデアを共有し、形にする場

- 自分事として将来のまち（将来の暮らし等）を考える・共有する
- やりたいこと、できそうなこと（アイデア）を具体化し、実践・検証しながら、今後の自分達の役割、関わり方について考える
- 懇話会を通じて、仲間づくりやまちに関わることの楽しさ・達成感につなげていく

懇話会でやろうとしていること

- 市民ができる、「まちにいいこと」を考える
- 「どこで」「なに」をやるとまちが活性化しそうか・・・
- 実際にやってみる（例えば、まちを歩く人を増やすために道端にベンチを置く、空地でマルシェをやる・・・）
- 活動を積み重ねる。議論も積み重ねる。



- 実体験をもとにした、自然体のまちの方向性づくり
- 行政は、活動を支援する形で、できること・やるべきことを施策とする



- まちが活性化
- みんなの参加意欲も向上

第2回の成果

第2回 開催概要

日時：令和4年10月22日（土） 14：00～16：00

会場：秦野市役所 3階 講堂

参加人数：20名

ワークショップテーマ

にぎわい創造のために「やりたいことアイデア」を考える

秦野駅北口周辺の特徴・魅力を活かし、足りないものをかいつくすために「やりたいこと」「やらなきゃいけないこと」のアイデアを考える。

「アイデア」を続けていくと、まちはどう変わっていくのかを考える。



にぎわい創造のための「やりたいことアイデア」を大きく分類すると、下記の5つに分けられた

- ◆まちの回遊性創出
- ◆拠点・居場所づくり
- ◆県道705号沿道の活用
- ◆水無川・湧水の活用
- ◆その他

まちの回遊性創出に関するアイデア

自分たちでできること

まちづくり

時間がかかること

散歩道の
ネーミング

誰もが迷わず
まち歩きがで
きる案内板の
設置

木材の端材で
ベンチづくり
座り場の設置

レトロな街並み
や空間を楽しめ
る場をつくる

立ち止まったり
歩きながら見れ
る空間づくり

レンタサイクルな
どで3 km圏の移動
を簡単にする

安全に歩ける
歩行空間の整備

デジタルサイ
ネージの活用
(街案内等)

レンタサイク
ル・Eバイクの
ポートの設置

自分たちだけでできないこと

拠点・居場所づくりに関するアイデア

自分たちでできること

コミュニティ

多世代が集まる
コミュニティ
サロン

気軽に人が集える
空間づくり

空き店舗等を活用
した多世代交流の
場をつくる

駅周辺で活動する
(エリアマネジメント)

水をテーマにし
た広場や公園

駅前にサイクル
ステーションを
整備

会議室等の
スペース

ネイチャー
フィットネス
拠点づくり

駅にアクティ
ビティセン
ターを整備

歴史や文化に
触れられ
体験できる場

歴史的集落
(の体験型)

子どもが遊べる
広場や公園

鉄道が見える場所
(レストラン等)
をつくる

時間がかかること

自分たちだけでできないこと

県道705号沿道の活用に関するアイデア

自分たちでできること

コスト削減

道路整備の空きスペースにテナントエリア（コンテナ・ケータリングカー等）を設置

道路整備の空きスペースにベンチや移動式植栽を置く

拡幅残地を湧水を活用した（井戸・水路等）広場・公園にする

水路をつくる

乗降容易な車寄せをつくる

アーケード商店街をつくりたい

水をテーマにした拠点施設を沿道につくる

時間がかかること

自分たちだけでできないこと

水無川・湧水の活用に関するアイデア

自分たちでできること

お金がかからないこと

時間がかかること

水を活用した商売をする
(ペットボトル販売、マイボトルが作れる等)

湧き水をめぐる
まち歩き

ベンチ等休める
場所をつくる

湧水を持ち帰ら
れる、使えるよ
うな場所の整備

湧水を利用した飲
食店 (カフェ、お
茶屋・かき氷等)

水無川の景観を
楽しめるテラス
等がある飲食店
をつくる

イルミネーション
を増やす

ペットに優しい
川沿いの散歩道
や飲み水

水無川で
キャンプ

水無川を駅から
上流へのウォー
キングコースを
視覚で訴える

水無川散策路
の再整備

川沿いに桜を
植える

水車や湧水をテー
マにした公園など
水をアピールする
場所をつくる

自分たちだけでできないこと

その他のアイデア

自分たちでできること

まちづくり

時間がかかること

SNS等を活用したまちの魅力の情報発信

防災・減災について考える

空き地で植栽ワークショップなどを行い、緑を増やす

桜を利用した商売をする

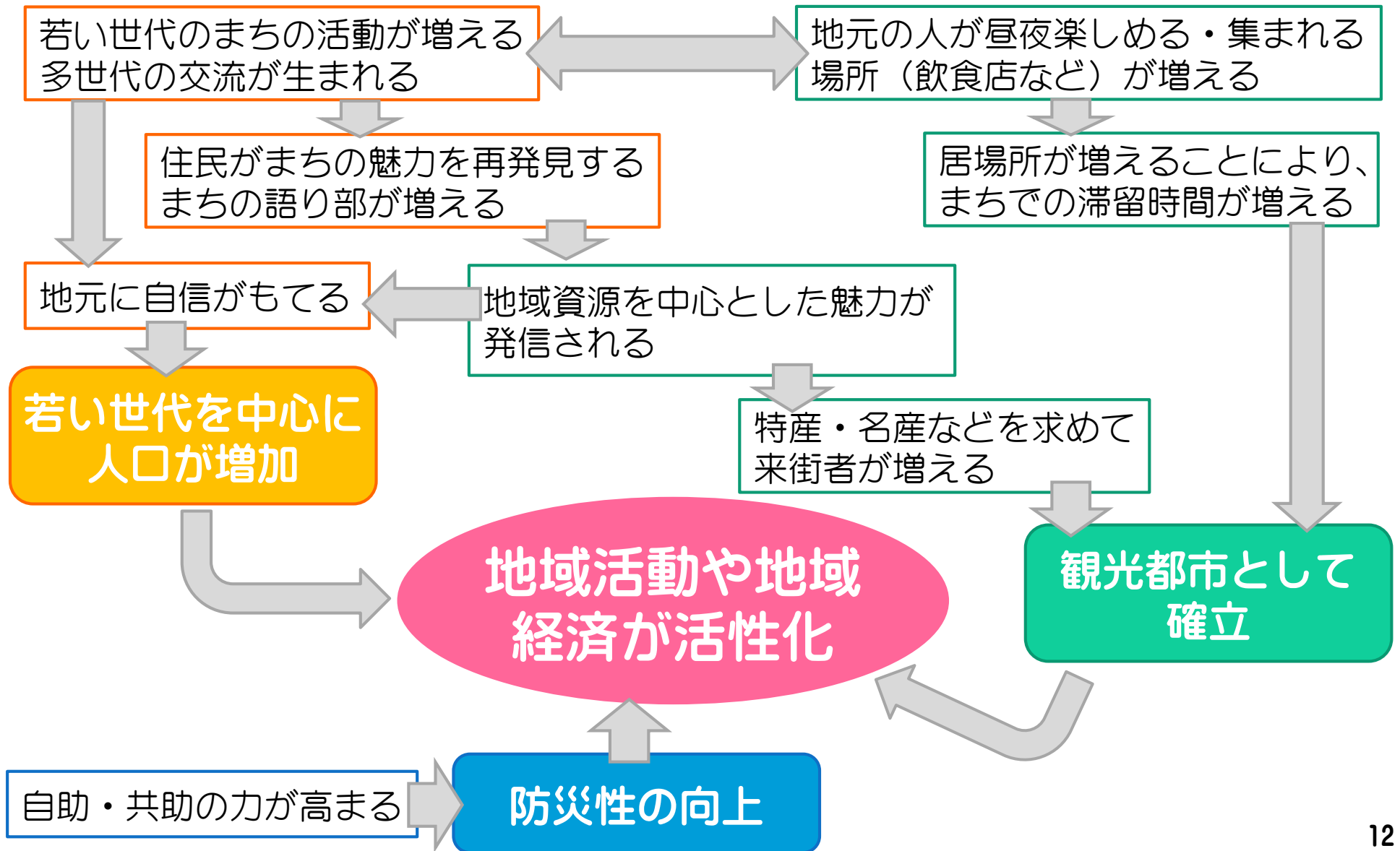
子どもが自由にまちを歩ける地域の見守り

歴史的な名所の紹介
(歴史や道の由来等)

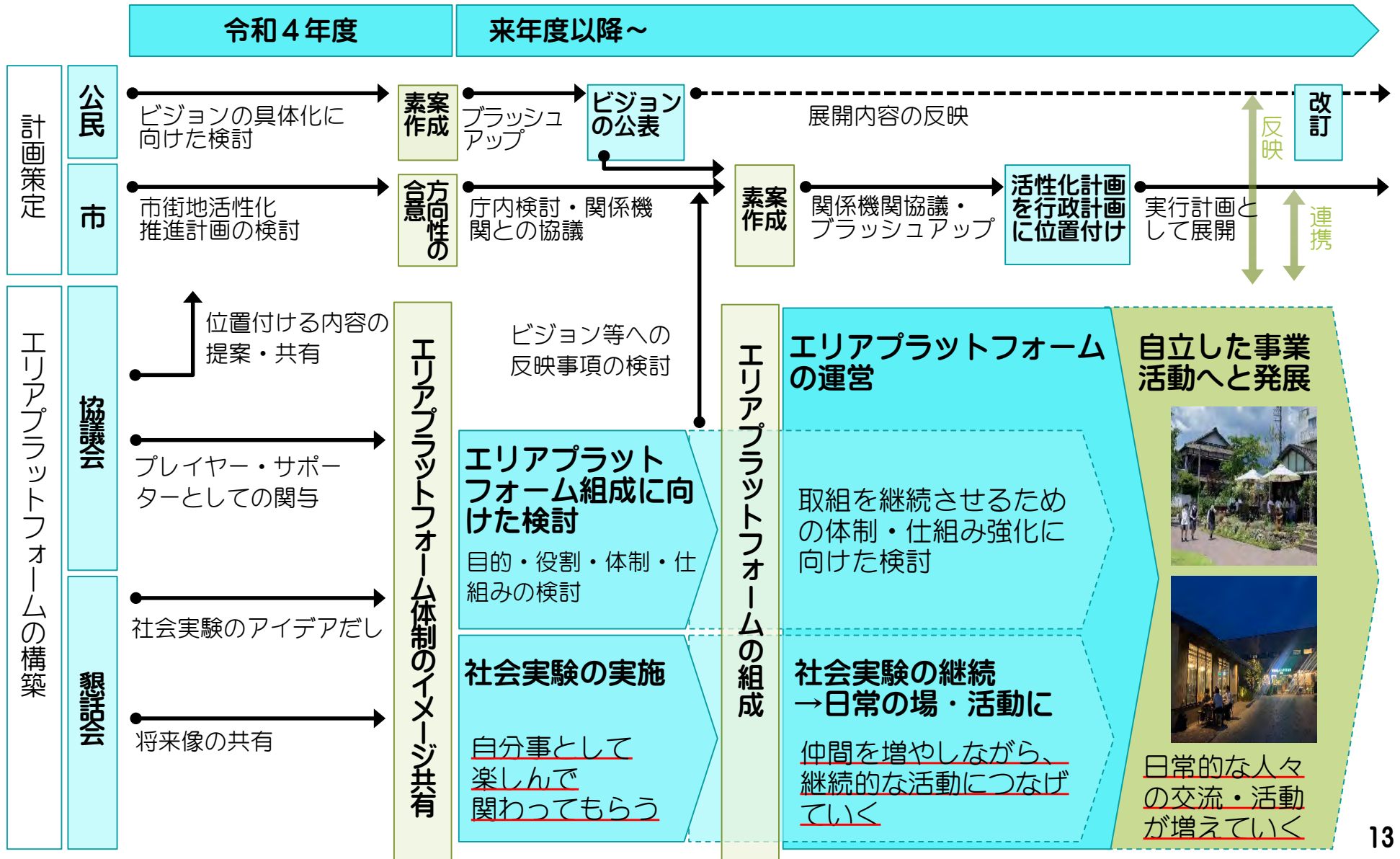
産婦人科の設置等子育てしやすいまち

自分たちだけでできないこと

アイデアを実践していくと、まちはどうなっていく



エリアプラットフォームの組成、ビジョン及び市街地活性化推進計画の策定・公表を目標に、継続的な公民連携によるまちづくりにつなげていく



ワークショップ

ワークショップ

「やってみたいことのアイデア」の実現方法を
「どこで」「どんなことをやる」のかなど
具体的に考える。

- ◆ 来年度以降、社会実験や暫定的に実施できそうな、秦野駅北口周辺で実施したい「やりたいことのアイデア」の企画案をつくる。
- ◆ 来年度、社会実験をするなら実施したい企画案を、グループでまとめる。

ワークショップの班分け

下記5つの班より、社会実験や暫定的に実施する際に
主催者側として参加したい班に参加

- ◆まちの回遊性創出
- ◆拠点・居場所づくり
- ◆県道705号沿道の活用
- ◆水無川・湧水の活用
- ◆その他、上記以外でやりたいこと

【お断り】

17～19ページは著作権保護等により削除しております。
ご了承ください。

ソロワーク

◆来年度以降、社会実験や暫定的に実施できそうな、秦野駅北口周辺で実施したい「やりたいことのアイデア」の企画案を考える。

企 画 案	
アイデア	
目的	
やること	ターゲット
実施場所	実施時間帯 平日 土休日 時 ~ 時
準備すること・もの	心配ごと・課題

グループワーク

ソロワークで考えた「企画案」をグループ内で発表し、**来年度、社会実験**をするなら**実施したい企画案**を、グループでまとめる。

team	チームリーダー
アイディア	
目的	
やること	ターゲット
実施場所	実施時間帯 平日 土休日 時 ~ 時
準備すること・もの	心配ごと・課題

全体発表（1班5分程度）

グループワークのまとめを発表し、みんなの考えを共有しよう

グループワークのまとめを発表する人を1～2名決めてください

ワークショップのルール

ワークショップは、趣旨に則った意見交換の場です

- 全員が発言できるよう、話は簡潔にまとめ、他の人の意見も十分に聞けるようにしてください。

◎参加に当たっては、自主性（自発性）を存分に発揮しましょう。

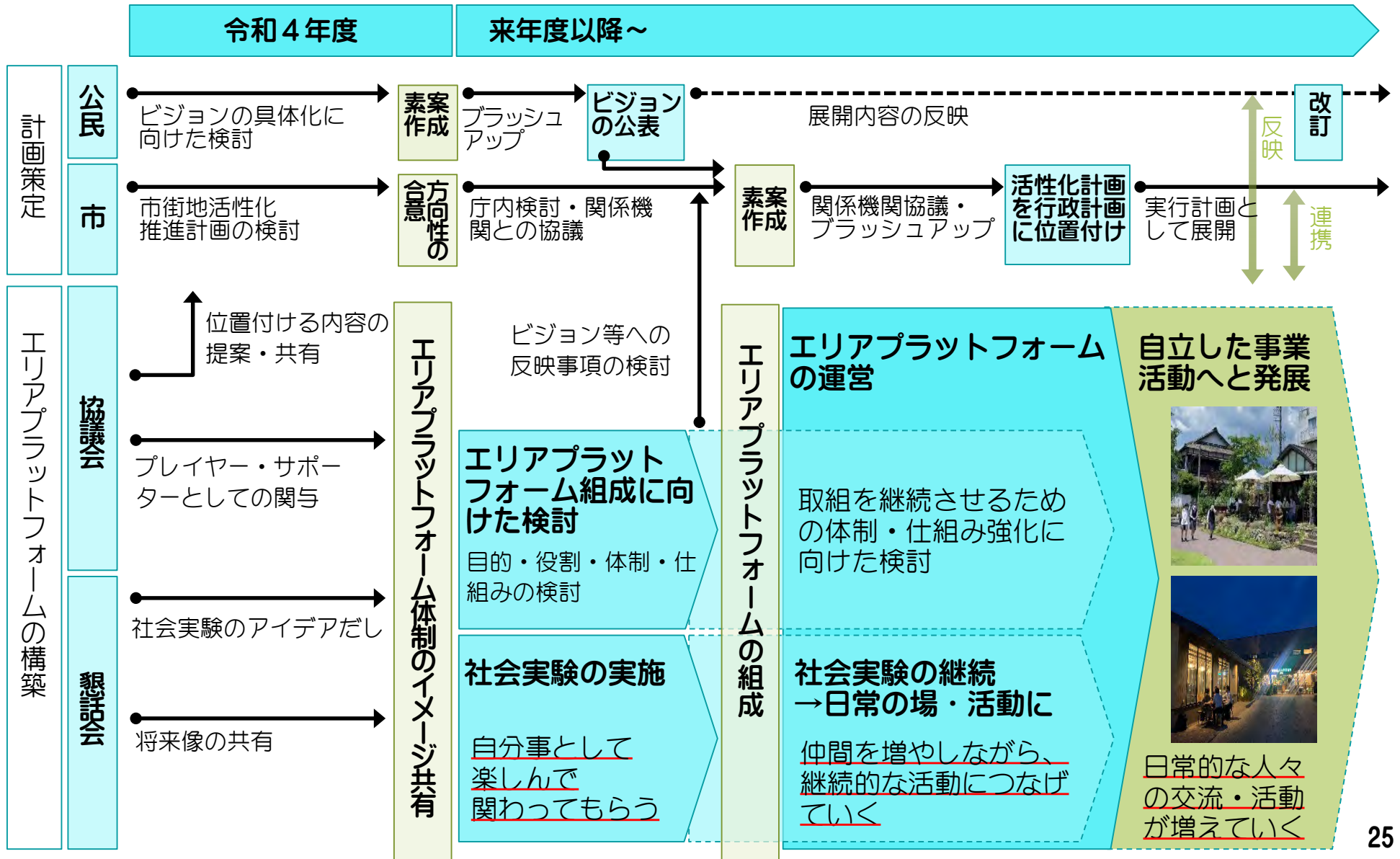
◎参加者相互の立場を尊重しましょう。（他人の意見の非難・中傷はご遠慮ください。）

◎目的や情報など基礎的な共通認識を参加者で共有しながら進めましょう。

◎ワークショップを楽しみましょう。

今後の進め方

エリアプラットフォームの組成、ビジョン及び市街地活性化推進計画の策定・公表を目標に、継続的な公民連携によるまちづくりにつなげていく



秦野駅北口周辺 にぎわい創造 検討懇話会

まちに係る様々な人のまち
に対する思い、アイデアを
引き出し、形にする場

秦野駅北口周辺 にぎわいのある まちづくり 協議会

将来像の実現に向けた市民
等の思い・アイデアを
具体化する場

秦野にぎわい 創造 プロジェクト 推進会議

将来像の実現に向けた市の役割の確認・共有、
重点事業推進に向けた連絡・調整の場

構成委員

学 識：東海大学建築都市学部、
神奈川大学建築学部
地 域：自治会、商店会
経済団体：秦野商工会議所、
秦野市農業協同組合
企 業：公共交通事業者、
金融機関
行 政：副市長、政策部長、
都市部長、建設部長

事務局 はだの魅力づくり推進課駅周辺にぎわい創造担当（各組織の運営、進行管理、調整等）

秦野市にぎわい創造検討懇話会(秦野駅)の今後の進め方について

令和6年度～

「まちの未来ビジョン」の実現の取組

市街地活性化推進計画(実施計画)の策定
(国の支援対象として認定)

令和5年度 「まちの未来ビジョン」を策定してより多くの市民や事業者と共有

秦野駅北口周辺にぎわいのあるまちづくり協議会への提案

第2回懇話会

自分たちで
今すぐできること

まちの将来に向けて
考えたいこと

未来ビジョンの項目案として具体化

- ・秦野駅北口周辺地区の目指す姿
- ・エリアごとの目指す姿
- ・自分たちが各エリアで生活、仕事等をしている場面のビジュアル化

第1回懇話会

まちの魅力

まちに
足りないもの

テーマ出し

- ・テーマごとの企画
- ・社会実験の実施、検証
- ・活動や議論の積み重ね

ビジョンに
反映

第3回懇話会

実践・検証

- ・回遊性の創出と安心な歩行空間
- ・拠点・居場所づくり
- ・水無川・湧水の活用
- ・県道705号沿道の活用

秦野市にぎわい創造検討懇話会(ワークショップ)

第4回（令和4年12月中旬開催予定）

来年度の社会実験実施に向けて 実施計画案をつくる

詳細が決まり次第、秦野市ホームページや懇話会Instagramなどでお知らせします。

